

第12回国  
指定史  
跡入江・高  
砂貝塚整備  
検討委員会  
(委員長・  
小林辰雄国  
学院大名誉



平成23年度の基本計画を策定した検討委員会

教授)が、3月1日役場防災ホールで開かれ、平成2年度に実施した入江貝塚周辺の分布調査の結果についての報告を受け、平成23年度中の基本計画の策定を確認しました。

同委員会では、遺跡の範囲や内容について協議が行われ、整備に向けて、墓や貝塚の遺構の復元や芝草だけでなく縄文野草の植栽など、内容についても具体的な提案がありました。

平成25年度から始まる保存整備についても、着工前から住民と協働して行うことが言及され、「住民との組織づくりを急ぐように」との提言がありました。

入江・貝塚整備検討委員会  
基本計画を確認 住民組織づくりを提言

洞爺湖温泉の今後の観光を提言  
観光塾地域再生セミナー

くまるとうや湖観光塾(中村敏之塾長)が洞爺湖温泉の活性化をめざして、3月8日地域セミナーを開きました。

講師は、地域活性化や旅館の事業再生の応援を行い、マスメディアでも活躍する井門隆夫さんで、約30人の参加者を前に、人口減少時代を迎えた今後の観光のあり方について語りました。

旅館同士のネットワークの大切さやリピーター作りの成功例として、勝浦市で取組んでいるひな祭りのイベントなどを紹介し、

「物語をどう作っていくのが大事。プロデューサーが必要」と提言しました。



温泉の活性化を探る地域再生セミナー

懐メロ合唱で心を開放  
健康づくり講演会

「音楽」と「笑い」をテーマに、健康づくり講演会(主催洞爺湖町・同健康づくり推進委員会)が3月9日健康福祉センターさわやかで、約70人が参加して開かれました。

講師は、NPO法人日本ナラティブ音楽療法協会理事長大湊幸秀さん。同療法は、音楽をきっかけに、「心と心の対話」を求め、心の開放につなげていこうとするものです。笑いを入れながら、穴埋めクイズを行ったり、社会の出来事にふれながら童謡、懐メロなどを全員で合唱しました。

会場は、懐かしい歌声が響き、笑いが耐えない講演会となりました。



笑いと歌声で心を開放する参加者

3月10日、会員の親睦と交流を目的にダーツお楽しみ会(主催洞爺湖町老人クラブ連合会)が、母と子の館で開かれ、参加したお年寄り(平均年齢78歳)は、集中した表情でボードをめがけてダーツを投じていました。



優勝した睦会Bチーム

1チーム3人で、一人3本の矢(ダーツ)を投てき合計点を競うもので、3チーム93人が参加。

参加者一人ひとり、全神経を使って、中心の円に矢が当たるように投げ、中心円のブルに命中すると、会場から驚きの声が上がっていました。

成績は次のとおり。

1位 睦会B 2位 栄A 3位 清水クラブ

ダーツで交流と親睦  
老人クラブ「ダーツお楽しみ会」

まちのわだい